



親集約の変更（Parent Aggregate Change）

- ・親集約の変更（Parent Aggregate Change）（1 ページ）

親集約の変更（Parent Aggregate Change）

このアラームは、予期しないスーパーネットまたはしきい値違反を検出します。

ネットワークオペレータは通常、アドバタイズされたプレフィックスの直接のスーパーネットプレフィックス（集約またはサマリー）、およびその他の集約された上位スーパーネット、およびそれらの発信元 AS を認識しています。ユーザは、Classless inter-domain routing（CIDR）プレフィックス長を指定して、予想される IPv4 および IPv4 スーパーネットのセットを少なくとも 1 つ設定する必要があります。ユーザは、許可された送信元 AS のリストから、観測された集約が発信されるように強制することもできます。



- (注) 問題にすぐに対処できるように、問題（ルート情報の漏えい、または何らかのタイプの設定不備）を起こしている可能性があるピアを知っておくと役立ちます。[マイピア（MyPeers）]ルールは、特定の Crosswork Cloud サブスクリプションでこのアラームに使用できます。[c_subscription-plan-options.xml](#)[マイピア（MyPeers）]オプションは、ピアからの BGP 更新のみに従いますが、[すべてのピア（AllPeers）]はピアおよびグローバルピアからの BGP 更新に従います。[ピアの追加](#)このオプションを設定するには、[Crosswork Cloud Network Insightsポリシーの追加](#)、

考えられる検出される問題

このアラームは、サマリープレフィックスの誤った取り消しやルートリークを特定するのに役立ちます。

関連するアラームルールの設定

このアラームルールをプレフィックスポリシー設定に追加する場合は、次のオプションを設定する必要があります（[外部ルーティング分析（External Routing Analysis）]>[設定（Configure）]

> [ポリシー (Policies)] > [ポリシーの追加 (Add Policy)] > [プレフィックスポリシー (Prefix Policy)] > [ルールの追加 (Add Rule)] > [親集約の変更 (Parent Aggregate Change)]。

- **しきい値** (アドバタイズされた集約ごと)
- [許可された発信元ASN (Allowed Origin ASNs)] (オプション)
- [許可されるIPv4/IPv6スーパーネット (Allowed IPv4/IPv6 supernets)]

例

[親集約の変更 (Parent Aggregate Change)] アラームルールを使用してプレフィックスポリシーを作成し、プレフィックス 8.8.0.0/24 にリンクします。ポリシーは、許可された IPv4 集約プレフィックス長 [22, 9] および許可された発信元 AS 3356 で設定されます。次のイベントがアラームをトリガーします。

- 予想されるスーパーネット 8.8.0.0/22 がハイジャックされます (プレフィックスは予期しない発信元 AS から発信されます)。
- 集約、プレフィックス 8.8.0.0/20 がアドバタイズされ、潜在的なリークとして識別されます。

リークまたはハイジャックが解決されるか、ユーザがアラーム設定を変更して、これらの集約アドバタイズメントが正当であることを示すと、アラームはクリアされます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。